経口抗がん剤を含む処方のレジメンチェックと今後の課題

【背景】内服抗がん剤は経口投与が主で、副作用が懸念されるため、レジメンで投与する製剤が多く、投与方法がより簡便化されることが期待されている。経口抗がん剤の投与方法にはフィルムカプセル、スブリム、ナプキン、口内錠等があるが、それぞれ特徴があり、適応される場合が異なる。

【目的】内服抗がん剤は経口投与が主で、副作用が懸念されるため、レジメンで投与する製剤が多く、投与方法がより簡便化されることが期待されている。経口抗がん剤の投与方法にはフィルムカプセル、スブリム、ナプキン、口内錠等があるが、それぞれ特徴があり、適応される場合が異なる。

【実験】2009年10月から2010年9月までの1年間、当院にS-1を含むレジメンレジメンチェックを行った。

【結果】S-1を含むレジメンにおいて、100%が薬液の給与状況を確認した。対象となる薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセム、クレメジ等である。実際臨床で使用される薬剤は、シクリン、三尖、セレチビド、キビセメ